

社 報



アルミ支柱を試作

従来のパイプサポートに変わる仮設支柱として、アルミ製の支柱を製作すべく計画を進めています。今までに幾度となく、試作としては失敗してきました。が、ついにその決定版というべき試作品が出来ようとしています。すでに特許も申請しましたし、準備万端です。



熊本で地震

先月、4月14日・16日と熊本で大きな地震がありました。被災された方々には、誠にお気の毒なことで、心よりお見舞いを申し上げます。

私達、建物を造る職業にある者として、地震で建物が倒壊する姿を見ることは、大変残念なことです。

阪神大震災・東日本大震災と地震が発生するたびに、建物を造る者として、地震に強い頑丈な建物を造らねばと思います。

実際には、地震に対する建物の強さは、設計段階で決められており、私達を作る段階で建物の強度に影響を与えることはありませんが、それでも、建物への思いは強く、立派な良い建物を造らねばと思います。

熊本では、4月の半ば以降、ずっと余震が続いており、人々は地震の恐怖から、車の中で寝泊まりしたりし、大変な苦勞を強いられています。

電気・水・ガスも途断しているところもあり、生活もままならない状況が続いています。

地震があるたびに、人間にとって、建物の重要性が思い知らされます。



安心して、雨・風をしのぎ、暖を取れる、食事の用意ができる、お風呂やトイレや、ごく日常的な生活が送れることが、いかに大切なことであるか。

建物の強度は、地震の度に見直され、新築物件の耐震性能は向上していますが、建物は老朽化によって強度も落ちていきます。老朽化を防ぐべく、建物を手入れするにしても、多額の費用が必要になり、費用のことを考えると、そう簡単に、補修や保全工事を行えません。

建物へのコストは、一般の人々にとって大きな負担となっています。一朝一夕には行きませんが、この点も、建設業全体として取り組む必要があるのではと思います。

建設業は人々の命を守る産業でもあるのですから。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

作業計画の良し悪しは=整理整頓

作業計画と言えば、事前に計画書を作成し、危険な作業がないかを綿密に計画せよ、などと言われます。しかしながら、計画とは人間が考えるもので、それを記録として、または他人に周知する目的でペーパーにするのは理解できるとしても、記録を残すがための記録になってはいないでしょう

か。いくら事前に、綿密に計画を立てても、その通りに現場が動くかどうかはやってみなければわかりません。

良い作業計画を立て、管理されているとすれば、現場の整理整頓が行き届くはずで

す。今月も事故がありませんように。(拝)

2016年 安全成績

■現場災害 H28.1.1-H28.5.4	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■交通災害 H28.1.1-H28.5.4	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0